



こやま ようこ
むしや 者 (公明党)

**防災・減災対策、
人口減少対策・子育て支援事業について**

防災対策について

問 災害を想定した、タイムラインの策定状況は。

答 市では国や県とともに構成している烏川流域協議会で、台風を想定し、「いつ」、「誰が」、「何をするか」を記載した、タイムラインを策定しました。

問 備蓄品の拡充で、ミルク、アレルギー対応食、おむつなど追加が望まれるが計画はどのようになっているのか。

答 数量が不足の毛布や組み立て式簡易トイレ、被災地で需要があつた物資や資機材などを参考に計画的に進めていきます。

問 通電火災を防ぐための、感震ブレーカーの設置助成の考えは。

答 感震ブレーカーの実用性などを研究し、総合的に検討していきます。

減災対策について

問 地区の避難訓練、避難所の開設訓練などを実施する地区への

支援は。

答 自主防災組織が実施する訓練への補助金交付や情報提供、図上訓練など支援しています。

移住・定住の促進について

問 お試し宿泊施設の整備の考えは。

答 くつろぎの郷コテージを利用した移住体験プログラムを始めています。

その他、子育て支援事業について質問しました。



組み立て式簡易トイレ



え 桜井 ひろ江
さくらい (日本共産党安中市議員)

**病院事業・下水道事業・
会計年度任用職員制度について**

碓氷病院の新改革プランについて

問 平成29年度実績では患者数が減少しているが分析と対策は。

答 療養病棟の死亡者が多かつたこと、平成29年度から常勤医師1人体制の外科で減少しました。地域連携室を中心に、地域の診療所や医療圏域の回復期の患者を紹介してもらえよう取り組んでいます。

問 収益増にもなる訪問リハビリテーションを始めてはどうか。

答 スタッフ不足から現状では難しく、人員の確保を含め検討していきます。

問 医師不足が大きな課題だが、思い切った動きが必要。常勤の医師にも努力・協力をしていただくことはどうか。

答 医師から情報をいただくこともあります。

赤字補てんについて

問 平成27年度から、市の一般会計から基準外繰り入れをしてお

り、3年間で約14億円と多額になっている。基準外繰り入れをいつまで続けるつもりか。

答 新改革プランにより、経営改善することによって平成32年度は、基準外を2億1000万円に減らす計画です。地域包括ケア病棟の入院料算定の高い基準取得や、他の新たな加算もとれる努力をします。

その他、下水道事業、会計年度任用職員制度についての2項目を質問しました。



公立碓氷病院